

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

新潟市に大規模観光農園

ナミックス、郊外の西蒲区に26年

電子材料のナミックス（新潟市）は新潟市郊外に農業をテーマにした大規模な観光施設を造る。同市西蒲区の約10万平方メートルの土地に、スマート農業工場やレストラン、農業体験ができる観光農園を整備する。総投資額は約40億円で、2026年の開業を目指す。親子で学べる「食育」施設とするほか、農業の生産効率化に向けて産官学連携で取り組む場とも位置付ける。



ナミックスが観光農園の造成を予定している青少年研修センター跡地（4月撮影）

40億円投資 食育やスマート農業実験

建設を計画しているのは、新潟市西蒲区にある県立青少年研修センター跡地。現在は未利用の空き地。23平方メートル、面積は9万9500平方メートル。7月に県が公募型プロポーザル方式による売却を発表し、こ

観光農園を整備予定の土地	
物件名称	新潟市西蒲区越前浜青少年研修センター跡地
面積	9万9523㎡
購入希望価格	3億6435万円
事業計画	観光農園を2026年4月開業

のほどナミックスを売却予定者に選定した。ナミックスの土地購入希望価格は3億6435万円。農業従事者の減少や耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境は厳しさを増している。ナミックスは地域社会への貢献と、電子材料製造で培った温度や湿度管理のノウハウをスマート農業の分野でも生かしたいと考えて、約2年前から観光農園など農業事業への参入を検討していた。青少年研修センター跡

地は佐渡弥彦米山国定公園内に位置する。周辺より標高が高く、角田山や日本海、ラムサール条約登録湿地の佐潟を見渡せるなど眺望に優れている。ナミックスは周辺の自然環境や景観を生かした施設を整備できるとし、県の公募型プロポーザルに応募した。23年2月の県議会での議決を経て、売却が正式に決定する。

土地取得後は26年の開業を目指す。23年から造成を始める。総投資額の40億円は自己資金を充て、現時点での計画では料理教室や収穫体験などができるスマート農業エリアのほか、コメを育てる棚田エリアなどを設ける。敷地内では葉物やフルーツなどの農作物を栽培する計画だ。レストランや物販エリアでは敷地内で収穫した農作物のほか、地域の農業生産者の農作物も取り

扱いたいとしている。スマート農業エリアは行政や大学、地元企業とも連携し、効率化や省人化につながる新しい生産手法を探る社会実験の場とも位置付ける。